



# すみれだより

## 卒業 記念号



すみれが丘小学校

www.city.takarazuka.hyogo.jp

# 旅立ちの日に

学校長 国友 靖夫

本日、61名の卒業生が、新たなステージへと旅立っていきました。  
ご参列いただきました保護者のみなさま、学校運営協議会のみなさま、ありがとうございました。  
最後の学校だよりとして、私からのメッセージをお送りします。

## 式辞

昨日の名残り雪には驚かされましたが、今日は快晴の青空となり、季節は確実に春に向かっていきます。  
今、この瞬間も時は進んでいます。  
6年前に、小学校に入学したみなさんも、本日、無事に6年間の課程を修了し、旅立ちの日を迎えました。  
卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

私は、みなさんが4年生の時に、教頭先生として、すみれが丘小学校にやって来ました。

西山先生が出張で不在の時に、代わりに授業に入ったのが、最初の関わりだったかと記憶しています。

「この中に隠れている漢字を、できるだけたくさん見つけなさい」という授業だったか「口に二画付け足してできる漢字」の授業だったか、楽しかったのを覚えています。

そして、校長先生となり、この一年間。

みなさんの素晴らしいところをたくさん見ることができました。

すみれタイムでは、下級生のお世話をし、久しぶりの開催となった「すみれまつり」も大いに盛り上げてくれました。  
運動会では、5年生を引っ張り、迫力満点の「南中ソーラン」を披露したり、縁の下の力持ちとして様々な仕事を担ってくれたりしました。

委員会活動では、毎日の取り組みだけでなく、児童朝会での発表も頑張ってくれていました。

ここでは紹介しきれない、みなさんの頑張りに、心から感謝しています。

そして、そんなみなさんの姿を、5年生が見ています。

「あんな6年生のようになりたい」「6年生になったら、私も頑張るぞ」という憧れが、すみれが丘小学校の伝統を作っていきます。

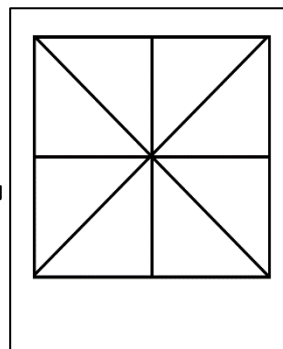
4月、最高学年となる5年生のみなさんは、ぜひ、先輩たちに追いつき、そして追い越していき、さらに素晴らしいすみれが丘小学校を創ってってください。

さあ、4月からは中学生です。

そんなみなさんに、ひとつだけ、お願いをします。

それは、いっぱい失敗をしてください。

失敗は、何かにチャレンジする人だけができる特権です。



発行：令和6年（2024年）3月22日

何も挑戦しない人には、失敗はありません。

けれど、成功もないのです。

失敗すると、「次はこうしてみよう」「こうやってみよう」とさらに頑張ることができます。

失敗したときには、お家の人や友だち・先生が助けてくれます。

これは、この一年間でもありませんでしたか？

どんなことでも結構です。

ぜひ、失敗を怖れず、チャレンジしてみてください。

そして、あなたの周りで、失敗して困っている友だち・つまずき悩んでいる友だちがいたら、どうか助けてあげてください。

校長先生からのお願いです。

さて、本日ご臨席賜りました、学校運営協議会のみなさま、いつも本校の子どもたちを見守っていただき、感謝申し上げます。

今年は、卒業生との餅つき体験も開催していただき、子どもたちにとっても思い出のひとつとなりました。

本当にありがとうございました。

そして、保護者のみなさま、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

6年間の小学校生活を元気に送ることができたのも、みなさまの支えがあってこそです。

今日、この日を迎えることができ、私たち教職員も大変うれしく思っております。

至らぬ点もあったかと存じますが、この場をお借りして、お礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

最後に。

別れがあるからこそ、人の世は美しく、

出会いがあるからこそ、人の世は素晴らしい

これは、私が尊敬する先生の言葉です。

4月、みなさんに素晴らしい出会いが待っていることを願っています。

ご卒業、本当におめでとうございました。

令和6年（2024年）3月22日

宝塚市立すみれが丘小学校長 国友 靖夫

保護者のみなさま

お預かりしておりました大切なお子様を、本日、確かにお返しいたしました。

小学校生活の6年間、そして最高学年としての1年間、さまざまな面でご支援・ご協力をいただき、学校を支えてくださったこと、本当にありがとうございました。

